

1.背景

「可愛い」ものは誘引性が高いと考えられているが、可愛いものを構成する要素が、それぞれどのような行動変容を引き起こすのかについては、十分に明らかになっていない。そこで、可愛いと認識されているものにはどのような要素が含まれているのか、またそれらがどのような行動変容を引き起こすのかを明らかにすることを目的とした。

2.実験

参加者には、以下の3段階の工程に従って実験に協力してもらった。

- ①まず、無地の箱(図1)を掲示し、その箱に対してアンケート(表1)に答えてもらった。
- ②その箱に対して「可愛くなるように」絵を描いてもらった。
- ③最後に②で絵を描いてもらった箱(図2)に対して①と同じアンケートに答えてもらった。

可愛いと認識されているものがどのような行動変容を起こすのか、③で回答されずに①でのみ回答されたアンケート項目、反対に①で回答されずに③でのみ回答されたアンケート項目、それぞれと描かれたパーツを対応させて表を作成した。



図1:無地の箱



図2:絵を描いもらった箱

3.結果

表1:アンケート項目とパーツのクロス集計

	可愛くなるように絵を描いてもらった箱														
	無地の箱	目	耳	鼻	口	ひげ	睫毛	眉毛	尻尾	手	足	髪	ほっぺ	リボン	ハート
1.箱に近づいてみたい	0	2	2	2	2	0	2	1	1	0	0	0	2	0	1
2.箱のそばに立ちたい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3.箱をもう少しよく見たい	3	3	3	3	3	2	1	2	2	1	1	0	1	1	1
4.箱を正面から見たい	1	7	5	6	6	1	4	2	3	3	1	2	4	2	2
5.箱をいろいろな角度から見たい	1	6	6	6	6	3	5	2	2	1	0	1	2	1	1
6.しばらく眺めていたい	0	8	7	6	7	2	6	3	3	2	0	3	3	2	1
7.箱から目を離したくなくなる	0	1	1	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0
8.箱の細かい部分を確認したい	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1
9.箱の表情(見た目)を観察したい	0	8	6	7	8	3	5	3	3	1	0	3	2	3	0
10.箱の写真を撮りたくなる	0	10	9	9	9	2	7	5	3	3	1	5	5	4	3
11.箱に触れてみたい	5	2	1	2	2	1	1	0	2	2	1	0	1	1	1
12.手でなでてみたい	1	5	4	3	5	1	4	2	1	2	0	2	2	2	0
13.指で軽く触れてみたい	2	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0
14.箱の表面を確かめたい	2	3	3	3	2	0	1	2	1	2	1	2	2	0	1
15.両手で触れてみたい	4	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0
16.箱を持ち上げてみたい	5	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1
17.箱を動かしてみたい	8	2	1	2	1	0	1	1	0	1	0	2	1	0	0
18.箱の向きを変えてみたい	0	7	7	6	7	2	6	4	1	2	0	3	3	4	1
19.箱を自分の近くに引き寄せたい	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1
20.箱を机の上に置いてみたい	1	4	4	4	3	0	3	1	3	1	1	0	3	1	2
21.箱を開けてみたい	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22.中に何が入っているか確認したい	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23.箱の中をのぞいてみたい	8	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0
24.箱を使って何かしてみたい	1	4	3	3	3	1	3	2	0	2	0	2	1	2	0
25.箱を大事に扱いたくなる	0	11	9	9	9	3	8	4	4	5	1	3	5	2	3
26.箱を壊さないように扱いたい	0	5	4	5	4	3	4	1	2	3	0	1	2	1	1
27.箱を手元に置いておきたい	0	7	6	6	5	0	5	2	3	3	1	3	5	3	2
28.箱を誰かに見せたい	0	12	11	11	8	3	8	8	4	6	1	4	6	5	3
29.箱に名前をつけたい	0	11	9	9	9	4	8	3	5	4	0	3	4	3	1
30.箱に話しかけたい	0	2	2	2	1	0	1	0	1	1	0	0	2	0	1

アンケート項目と描かれたパーツを対応させて表1にまとめた。オレンジのハイライトは描画後の箱で5件以上回答された項目、緑のハイライトは無地の箱で5件以上回答された項目を示す。オレンジのハイライト部分を見ると、「よく見たい」「眺めたい」といった接近欲求に加え、「誰かに見せたい」「名前をつけたい」といった社会的・情緒的項目も増加している。これには、まつ毛やほっぺも関連していると考えられる。一方、緑のハイライトに注目すると、無地の箱では「開けてみたい」「中をのぞいてみたい」といった機能面への関心が高かったが、描画後はそれらが減少していることが分かった。

4.結論と今後の展望

可愛いと認識されるものには、目、耳、鼻、口のような顔の基本的なパーツが大きく関わっており、「よく見たい」「眺めたい」といった行動意図が高まることが分かった。また、絵を描くことで箱の機能的な部分への関心が減ることが分かった。今後の展望として、顔の基本パーツをさらに細分化し、どのパーツがどの程度寄与しているのかに着目して研究を進めたい。